第95号

2020年10月30日

JET 通信

発行:学校法人 JET 日本語学校

JET 日本語学校後援会

〒114-0023 東京都北区滝野川 7-8-9 3, 4F

TEL03-3916-2101 / FAX03-3916-5333

E-mail info@jet.ac.jp

10 月期、スタート

初のオンライン入学式

新入生約 25 名のうち、ほとんどの学生が入国できていない 状況のなか、10月1日にプレイスメントテスト、翌2日には初 のオンラインでの入学式を行いました。

オンライン入学式では、学生は国籍別(言語別)のグループに 分かれて Zoom から参加し、越野理事長と井上校長のお話を聞 きました。在校生の洪筱涵さん(台湾)と榎戸バービーさん(フィ リピン)、卒業生の Michelle Nadya Tanoto さん(インドネシア) が各部で通訳にあたりました。その後、例年入学式後に行って いる新入生の歓迎パーティーの代わりに、在校生を交えた国別 親睦会やクラスホームルームをオンライン上で行いました。

学期開始前から予備授業

新入生の日本語レベルを測ることと、10月から始まる授業にスムーズに移れるようにすることを目的に、入学の約1か月前から、Zoom等で各学生と1対1のオンライン面談や予備授業を行いました。新入生の多くはひとまずオンラインで授業を受け、入国でき次第対面授業に参加するかたちとなります。

1 クラス 15 名以下の編成

進学科は対面授業が再開した 6 月から、一教室 10 名以下になるように、各クラスを二分して授業を行っていましたが、9 月末をもって分散授業を解除しました。現在は基礎科も含め、一クラス 15 名以下としています。

10 月期、オンライン受講も含めた総学生数は81名(全8クラス)。国籍別の割合は、台湾が42%、インドネシアが27%、マレーシアが7%、韓国が6%、タイが4%、香港が4%、その他(フィリピン、ベトナム、マカオ、フランス、日本)が10%です。



入学式の挨拶等は5台のカメラで言語別に配信しました。

スピーチ大会の各クラス代表 者には、副賞として JET のマス コットキャラクター「ジェッピー」 のオリジナルファイルも。 →

コロナ禍でのスピーチ大会

録画形式で様々な工夫

前期の大イベントであるスピーチ大会。今年は全校が一堂に会しての開催ができないため、各クラス代表のスピーチや応援を録画し、8月13日と14日にそれぞれの教室で視聴するかたちで実施しました。校内全体の賞は設けませんでした。各クラスの代表と演題は以下の通りです。

録画の際はコロナ感染対策を十分に施しましたが、クラスメイトによる応援は、大きな声を極力控えなければならないため、演出には様々な工夫が凝らされました。団扇にメッセージを書いたり、BGM を使用したり、体を叩いたり・・・。実にバラエティーに富んだものになりました。

前期はイベントが何もできなかったこともあり、学生からは「自分のクラスの一体感を出せて、他のクラスのことも知ることができて、やって良かった」と多くの好意的な意見が寄せられました。各クラスの代表者には、後援会から図書カードが贈られました。

3 面に Dela Cruz Kate Vivianne Olayres さんのスピーチ原稿を掲載しています。 (石津慎也)

クラス	クラス代表者	国籍	演 題
A1	Mahesa Pamungkas	インドネシア	光の巨人
	Sugiharto		
A2	Lee Chee Hong	マレーシア	私の留学への道
B1	Dela Cruz Kate	フィリピン	健康の世話を忘れて
	Vivianne Olayres		しまいました。
B2	Aurelius Matthew	インドネシア	闇から光へ
	Susilo		
C	王 嘉瑩	香港	いろんなはじめて
D	蔡 雅筑	台湾	平凡
E1	Kenichi Adriel	インドネシア	日本人の電車の習慣
	Lumban Tobing		
E2	Meliana Sandrawati	インドネシア	ソトミボゴル
	Lestari		
F	Vu Thi Hong Nhung	ベトナム	どうして日本に行き
			ましたか。



模擬テスト実施

オンライン授業の展開される中、4月15日にチャレンジ模擬 試験第1回(EJU)を学校で行いました。学生の安全を考慮し、 開始時刻を遅らせて開催しました。第2回目のチャレンジ模擬 試験(EJU)は、9月23日に。この時にはすでに対面授業が再 開されていましたが、やはりコロナ対策を十分にした上での実 施となりました。コロナ禍でEJUとJLPT、大きな2つの試験 が中止になる中、ひたむきに試験に取り組む学生達にエールを 送りたいです。(木村晴美)

大学院研究計画発表会

2020年度第1回目の「大学院研究計画発表会」が7月9日 に行われました。発表者は6名。全員台湾人男性です。(経営専 攻4名、スポーツ教育専攻1名、機械工学専攻1名)

教室の定員が10名だったため、先生方は2教室に分かれて の参加となりました。さらに自宅から ZOOM で参加された先 生方もいらっしゃるという JET 初のハイブリッドな発表会と なりました。学生も教師もフェイスシールド装着です。

これまでの授業はオンライン、図書館にも書店にも行けず参 考資料を手に入れるのにも時間と工夫が要りましたが、各々自 分のやりたいことを計画書という形に表すことができ、ある種 の達成感をもって発表会に臨みました。井上校長からは「研究 は富士山のようですよ。麓から様々な知識を積み上げて。」山口 副校長からは「何があっても研究したいという情熱が大事」参 加された他の先生方からもたくさんの励ましの言葉をいただき ました。学生達の高揚した表情に、やる気がみなぎっているの がわかりました。今後の頑張りに大いに期待したいです。(木村)

大学オンライン説明会

異例ずくめの2020年。7月6日、QtoJapon様主催によるICU (国際基督教大)の大学説明会を皮切りに東海大、東京理科大、 東京経済大、法政大、立命館大、横浜国立大の全7校全てオン ラインで1校ずつの単独説明会となりました。今年は各大学か ら送っていただいた資料を事前に読んできての説明会参加です。 (授業時間の関係で自宅から Zoom で参加した学生もいまし た。) 資料を読んできたせいもあるのでしょうか、毎回積極的に 質問する場面が見られ、意欲のほどがうかがえました。東海大 の説明会の際には、卒業生の Eap Karl Bil 君 (4年生・フラン ス) と Theodorus Alvin 君(4年生・インドネシア)が画面の向こ うから大学生活について流暢な日本語で話してくれました。充 実した大学での学びの様子は後輩の励みになったに違いありま せん。学生達は、来年の大学生になった自分をイメージできた ようでした。

今年の説明会について、学生達からは「コロナ禍なのでオー プンキャンパスに行けずに、とても心配だったが、直接大学の 関係者と話ができてとても安心した。」という声も多く聞かれま した。受験生の皆が大学を身近に感じ、志望校選択の助けにし てくれたら何よりだと思っていたので、彼らの感想を聞き、毎 回の説明会実施までの大変さも吹き飛びました。10月に入り、 大学、大学院の受験が続々と始まっています。コロナに負けず に、頑張れ、受験生!!(木村)

「J・TEST」の結果

9月12日 (土)、JET 日本語学校を準会場として J・TEST を実施しました。新型コロナウィルス感染予防の一環として、 外部の会場ではなく、今回初めて準会場として教室を提供し、 28 名の学生が受験しました。J・TEST は JLPT のようなテス トとは違い、得点に応じてレベルが診断されるというタイプの テストです。

A~C レベルと D~E レベルの二つに分かれ、2 教室で行われ ました。A~Cレベルの成績上位者は次の通りです。

	氏 名	出身	点数(900 点満点)
1	Mahesa Pamungkas	インドネシア	829
	Sugiharto		
2	胡元寧	台湾	779
3	車 玟恵	韓国	775
4	洪 筱涵	台湾	762
5	陳 秉暉	台湾	748

奨学金採用枠少し広がる

コロナ禍で経済状況が悪化した学生のために、今年度は各種 奨学金の採用枠が少し広げられています。

文部科学省からの奨学金では、例年の学習奨励費1名に加え て、6月に「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』(一 時金10万円)が4名に給付されました。ついで、学習奨励費 特別追加採用として、4名の受給が11月に見込まれています。

さらに、日本学生支援機構 (JASSO)からは「新型コロナウ イルス感染症対策助成金」として、学校宛に 20 万円が支給さ れました。このお金にJETの後援会からの補助を加えて、全在 校生に一人当たり 3000 円を支給することとしました。少しで はありますが、学生生活の助けになることを願っています。

また、千本財団第3期奨学候補生としてMahesa Pamungkas Sugiharto さん(インドネシア)、Phansuwan Chaichumphon さん(タイ)が選ばれました。本来10月から支給が始まるところ を8月から前倒しに取り計らってくださっています。

長いおつきあいとなる高山国際教育財団奨学生として Lee Chee Hong さん(マレーシア)が選ばれています。

後輩の皆さんも、目標に向かって奮闘している先輩たちに続 きましょう! (得猪節子)

基礎科 12 名に修了証書

9月18日、日本語基礎科の学生12名がコースを修了しまし た。C、D、Eの各クラスを校長が巡回し、修了証書を授与しま した。修了生たちは日本や母国で就職活動を行います。

健康の世話を忘れてしまいました。

皆さん、こんにちは。お元気 ですか。Bクラスのケイト・ヴ ィヴィアン・オライレス・デラ クルスと申します。結構長い名 前ですね。私はフィリンピンか ら参りました。



さて、皆さん、私たちの人生で一番大切なことは何だと思い ますか。仕事ですか、勉強ですか、家族ですか、恋人ですか、 健康ですか。皆さんどう思いますか。人によって違うと思いま す。何人か、家族のために仕事が一番大切な人もいるかもしれ ません。しかし、もし病気になったら、勉強や仕事ができると 思いますか。できなくなるでしょう。できる人もいるかもしれ ませんが。大体の人はできないと思います。無理にしたら、も っとひどいことになるかもしれません。今日、私はこれについ て話したいと思います。よろしくお願いいたします。

この世界は忙しすぎて、健康の世話を忘れている人は多いと 思います。家族のために、朝から夜まで働いたりして、ご飯を 食べずに仕事や学校に行きます。皆さんもそういう経験はあり ますか。やっていますか。忙しすぎて、人々は自分のための時 間が少なくなっているのでしょう。

こういう忙しい時、自分のための時間が少なくても、お金が 足りなくても、生きることができるでしょう。しかし、私たち が健康でなければ、生きることが難しくなくなって、死んでし まう場合もあります。さっき体調管理を忘れた人の話をしまし た。実は、私もそのうちの一人です。

先月の 26 日の金曜日、大変なことが起きました。私が目を 覚ますと、具合がとても悪くて冬のように寒かったです。熱を 測ったら、とても高い体温でした。39.8度でした。その時、す ぐ先生に連絡しました。「先生、今日休ませていただけませんか」 と聞きました。先生がすぐに返事してくれて、とても感謝して います。

なぜそんなことになったか、最初はわかりませんでした。コ ロナウィルスかと思いましたが、病院に検査をしに行ったら、 結果はUTIという病気でした。UTIとはバイキンが腎臓に 入ったという病気です。ですから1週間入院しなければならな いということになりました。入院しないともっとひどくなるか もしれないと言われました。

その日、日本で初めて入院しました。入院する前に1週間ぐ らい具合が悪かったのに、気にしませんでした、それは私のせ いです。皆が毎日頑張っているので私は少しの痛みのために欠 席することが嫌でした。それで、病気が悪くなりました。実は その病気は3日間で治るといわれましたが、私の場合は、我慢 していたので、1週間も入院することになってしまいました。

入院しているときに、さまざまなことを考えました。入院で 成績が下がるはずだから、学校のことをどうするか、大学に行 けるか、いろいろ悩みました。それに、家族を心配させてしま って、悲しかったです。しかし、こんな悩みは自分のためにな らないので、すぐ心の中の全部の悩みを消しました。そして、 あることを考え出しました。まず回復しなければなりません。

コロナウィルスが心配で家族が病院にこなくなって、1 週間 ずっと一人でした。とても寂しくて、腰の痛みが死ぬほど痛か ったです。しかし、1週間入院したことは、大変ですがたくさ んのことを学びました。まず、神様を信じる気持ちがもっと強 くなって、毎晩寝る前にお祈りしました。それに、看護師さん と日本語で話せるようになりました。とても面白かったです。 その時、学校で習った単語と文法が役に立ちました。

私は苦しい方法で健康の大切さを学びました。誰でも、私の ような経験はしたくないでしょう。病気で何もできなくなった り、体力が弱くなったり、学校に行けなくなったり、そして、 家族を大変心配させたりします。そして、体の健康だけではな く、心の健康も大事にしなければなりません。特に、現在の状 態でコロナウィルスがどこでも流行しているので、一番大切な ことは健康ではないでしょうか。ですから、皆さん一緒に元気 な体や心で生きていきましょう。仕事や勉強やお金などが、必 要だと思いますが、まず良い健康状態になっていきましょう。 私のスピーチは以上です。皆さん、ご清聴、ありがとうござい ました。

後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本 校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞 品の一部や遠足の補助金は、後援会からの支出によるもので

2020 年度は10 月末までに、18 名の方から259,000 円のご 支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける 方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費:3000円 賛助会費(一口):2000円 郵便為替口座:00140-1-101927 JET 日本語学校後援会

\star \star

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代 行サービス flywire をご利用いただけます。

https://www.flywire.com/pay/jet-academy/

後援会による学生支援

JET 日本語学校後援会は、新型コロナの影響を受ける学生 への支援を強化しています。6月に学生用のフェイスシールド や消毒用アルコール等を購入しました。また、来日が可能に なっても空港から公共交通機関を利用できない学生のため、 ハイヤー代を一部(上限 15,000 円)補助しています。

感想文コンクールで読書推進

8月から9月にかけて、校内で読書感想文コンクールをおこ ないました。コロナ禍で日本人との交流などが制限される中、 留学生の言語活動を少しでも支援しようという思いから始め ました。急な企画だったため、応募者は3名にとどまり、残 念ながら優秀作品を選ぶことはできませんでした。しかし、 今後も JET は引き続き読書推進に取り組んでゆきます。

校内 IT 環境 大改造!

こんにちは。JETのIT担当、森山です。

留学生の入国が制限されている中、今後増えていくオンライン授業や、対面授業のオンライン配信、オンライン説明会などに対応するため校内の IT 環境を大改造しました。

まず手始めに昔からず~っと使っていた ADSL 回線を光回線に変更!下り平均 10Mbps の呪いから解放されました!さらに事務所内に 1 台だけ設置されていた Wifi のアクセスポイントを 7 台まで増設。校内各所に設置しどこでもWifi が使えるように改善しました。

さらにさらに、PC を大幅増設!各教室に設置し授業のオンライン配信に対応!授業でネット動画を見せられる!! 個人的にはちょっとした夢が実現したような気持ちです。

JET の理念として「生」の日本語教育が一番というのは変わりませんが、まだまだ予断を許さない状況の中、今後も世の中に合わせて環境を少しずつ改善していくつもりです。

JET のIT 化にご期待ください!!

EPA「3代目」修了

6月末、桐和会の EPA 候補生 3 代目となる 5 名の日本語研修 が修了しました。JET での研修は 2018 年 3 月から約 2 年間。日々、介護福祉士候補生として医療現場で働きながら、N2 レベルまでの勉強をやり遂げました。今後は国家試験に挑みます。皆さん、頑張ってください! (草塩仁美)

板橋区日本語教室に講師派遣

公益財団法人板橋区文化・国際交流財団が主催している、「生活者としての外国人」のための日本語教室に、今年度後期(2020年 10 月~2021 年 3 月)、当校から講師 2 名を派遣することになりました。初回授業日の 10 月 8 日に、インタビュー形式でレベルチェックを行い、3 つのクラスに分かれ、週 2 回のレッスンがスタートしました。

日本語教室には幅広い国籍、年齢層の方が参加しています。 この教室での勉強が、参加している皆さんの生活をより豊かに し、ひいては地域社会の活性化に繋がるよう、取り組んでいき たいと思います。 (郷野真彩)

漢字テスト連続満点

ベトナムの Le Thi Thu Thuy さん

前期半ば(7月初旬)に漢字クラスの進級テストを行った結果、 Le Thi Thu Thuy さん(ベトナム)が見事満点をとりました。飛 び級で上のクラスに進級すると、学期末のテストでも満点とい う快挙を成し遂げました。

今年はコロナの影響で、漢字授業も対面ではなく、課題提出 型の授業で進めました。学生の顔を見て説明することができな かったため、指導が十分行き渡らないのではないか、また定着 度が悪いのではないかと懸念されましたが、進級テストや期末 テストの点数から見ると、従来とほぼ変わりない良好な成績を 修めていました。 (石津慎也)

学 校 日 誌

○6月26日 日本語能力試験(JLPT)の模擬試験

○9月3日 基礎科期末テスト

○9月17日 進学科期末テスト

○9月23日 日本留学試験(EJU)の模擬試験

○9月29日 ビザ更新の説明会

○10月2日 進学科クラスで課外活動(大学訪問)

○10月23日・30日 世界史の特別授業

○10月26日 専門学校進学ガイダンス

○10月28日~29日 日本語能力試験(JLPT)の模擬試験

秋のお茶会

JET の茶の湯体験は例年、早春2月と真夏の7月におこなっていますが、今期は9月18日、Dクラスにて秋のしつらえで楽しみました。色とりどりの上生菓子の銘は、「被綿(きせわた)」「秋桜(こすもす)」「みだれ萩」「茜空(あかねぞら)」柿をかたどった「秋の訪れ」。被綿(きせわた)など、説明する教師も想像の世界です。お茶を点ててみたいひと、と呼びかけると即座にハイッと手をあげたのは蔡雅筑さん(台湾)。この日は前期の最終日で、卒業する学生も。お別れを惜しむ一服となりました。(得猪)

東京女子大とオンライン交流会

8月14日、進学科の学生10名と大学生10名が参加して、 今年度初のオンライン交流会を行いました。

ブレイクアウトルームを使って、2~3名ずつで話をしたあと、 全体で言葉ビンゴをして楽しみました。5か月あまり、なかな か日本人と話す機会がなかったため、久しぶりに同世代の人た ちと日本語を話すことができ、楽しいひと時となりました。

学習院大、東京女子大とオンライン交流会

9月15日、基礎科Eクラスの学生たちが、大学生とオンライン交流会を行いました。学習院大学からは昨年教育実習で初級クラスに入った関根さんと澤口さんが参加してくださいました。初級のころの学生たちを知っているお二人からは、学生たちの日本語の上達に驚きの声があがりました。

東京女子大からインターン

8月から、東京女子大学で日本語教育を専攻する4年生をインターンとして受け入れています。週一回、授業見学をしながら、学校の事務などを手伝っていただいています。

オンライン JET の説明会 20回

JET 日本語学校では、毎年各国に出向いて学校説明会を行っています。しかし、今年度は新型コロナウィルスの影響で、どこにも行けなくなってしまいました。そのため、4 月 \sim 10 月にかけて全 20 回ものオンライン説明会を行いました。

説明会では、のべ 20 人以上の卒業生・在校生が、通訳や留学体験者として出演し、大いに活躍してくれました。座談会およびインタビュー形式の説明会は非常に好評で、実体験にもとづいた話に、現地会場の参加者からは活発な質問が出されました。また、IT エンジニアとして日本で就職を果たした林耕宅さん(台湾)は、「就職には何より日本語力が重要だが、JET の授業をしっかりこなすことで日本語の力が自然に身に付いた」、「JET の就職セミナーで学んだ履歴書の書き方が役立った」などと体験談を披露していました。

台湾の何宜諺さん、黄玟嵐さん、黄晨瑄さん、李澄雅さん、 林耕宅さん、陳彦獉さん、張馨云さん、蔡雅筑さん、蔡家愷さん、胡元寧さん、葉駿緯さん、卓翎維さん、タイのアリヤさん、 ナッパソーンさん、ピラヤーさん、パパウィーさん、ジューン さん、本当にありがとうございました!! (得猪・山口)

学習院大から教育実習生

10 月 19 日から 30 日までの 2 週間、学習 院大学文学部日本語 日本文学科から教育 実習生を2名受け入れ ました。俵木真由美さ ん(左)と青木身祐さん です。



b b b

JET 日本語学校での教育実習を通じて

俵木 真由美

今回の教育実習では、いろいろな授業を見学させていただき、 授業の流れや教える際の話し方、また対面授業及びオンライン 授業のそれぞれの違いなど沢山のことを学ばせていただいた。 その中で今回の教育実習で得たこととして、信頼関係の大切さ が挙げられる。実習中様々な授業や日本語学校の一日を見学さ せていただいた。その中で、先生方と学生の距離感がとても近 いことに気付いた。日本の学校に進学もしくは就職する学生さ んたちにとって、日本語学校での日本語の教育及び日本の文化 や風習に関することを学ぶことはとても大切なことだ。その中 で、彼らが、今後生活する上で困らないように、日本の生活で 最低限必要な礼儀や風習を上手く指摘できている点が何回も見 受けられた。このような教育ができるのも学生と先生方の信頼 関係がないと成し得ないことであると強く感じた。また、井上 校長先生もおっしゃっていた通り、こういった信頼関係が授業 でも大事であるという点に深く気づかされた。自分の教壇実習 の際、確かに技術面では怠る点は多く、まだまだ教えるには上手くいかない点も多かった。しかし、学生たちに少しでも学んでほしいその気持ちから、必死に準備をしてきた。その思いが伝わったかどうかはわからないが、必死でついてきてくれたことがとても印象的だった。技術面では至らない点は多い。だが、この先生はこんなに必死に自分たちに向き合ってくれて、準備もしている。だからついていこう。そう思わせる信頼こそ、教師にとって大事なことであるということを学び、これから日本語教師を目指す中で、その心を大事にしていきたいと思った。

今回の実習を通じ、日本語教育の世界でいつか働いてみたいとより強く思うようになった。2週間の間ではあったが、沢山のことを教えていただいた先生方、そして至らぬ私に先生として接してくださった学生の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

2週間の教育実習を通して感じたこと

青木 身祐

JET 日本語学校で教育実習を経験させていただき、2週間を通して感じたことがあった。

それは、「クラス」が形式上のものではなく、私が小学校や中学校、高校時代に経験してきたしっかりとした「クラス」であったことだ。もともと私が日本語学校に対して抱いていたイメージは、レベル別に学生がクラスに振り分けられ、ただ授業を一緒に受けているだけの場所というものであったが、実際に学校で過ごしてみると、クラスの学生同士はよく話し、1 限が始まる前にはホームルームのような時間もあり、そこで連絡を伝えていて、私が過ごしてきた学生時代によく似ているなと感じた。

なかでも、強く印象に残っていることがある。それは、進学 科のクラスの雰囲気が緊張感に包まれ、学生たちが一つにまと まっているように感じられたことだ。多くの学生はこれからだ が、受験が既に始まっている学生もいるためか、授業を受ける 学生の様子が他のクラスとは全く違っていて、とても印象的で あった。

越野理事長 FM ラジオで MC

越野充博理事長が、ShibuyaCross-FM(88.5Mz)の番組で 10 月から MC デビューしています。番組名は「音楽マンション プレゼンツ Life with Music」。第 1、第 3 の火曜日 19:00-19:50 にオンエアされていますが、YouTube ならアーカイブをいつでも見られます。(写真右は、パートナーの小松原亜矢子さん。)



前期の授業を振り返って

副校長 山口閑子

2020年度4月1日、日本政府による「新型コロナウィルス対策本部」が設置されたというニュースが流れる中、私たち JET 日本語学校ではまず進学科30名の新学期をスタートしました。

しかし、その後4月7日、東京に緊急事態宣言が発出され、対面 授業を続けることが難しくなりました。4月8日、急遽、基礎科のプレイスメントテストを行い、クラス決定。翌週からのオンライン授業 の準備をはじめました。

4月13日から進学科、4月20日から基礎科のオンライン授業をスタートさせました。進学科は4月13日から、週29時間の授業を続け、基礎科も5月11日からは週22時間の授業を行いました。

6月1日、緊急事態宣言が解除されたため、進学科から通学、対 面授業へと戻していきました。6月15日からは全クラスの学生が 学校に戻ってきて、対面で授業を行っています。

短縮授業、課題提出による授業時間の確保、各クラス 10 名以下、フェイスシールドとマスクの着用、授業後の消毒作業など、さまざまな対策を行って、9 月 18 日基礎科前期、9 月 30 日進学科前期の日程を無事終了しました。

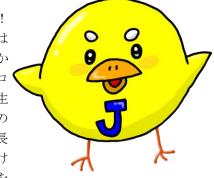
私たちは、この未曽有の状況の中、教職員と学生が信頼し合い、一致団結して半年間を過ごしてきました。逆境であっても日本で勉強したいという学生たちのために、教職員は様々な努力、協力を惜しむことなく授業を続けてきました。学生たちは、EJUやJLPTの試験が中止になる中、孤独や不安と闘いながら、授業で山のように出される課題をこなし、自らの目標に向き合ってきました。

後期もまだまだ気の抜けない状況が続きますが、教職員と学生の安全に最大限配慮しながら、JET は質の高い教育活動に取り組んでゆきたいと思います。

ジェッピー誕生!

この度、JETのマスコットキャラクター「ジェッピー」が誕生しました。当校は例年多様なアクティビティーを通して、地域の方々や学校、団体と交流しています。しかし今年度は、コロナ禍で様々なイベントが延期、中止となり、日々の学習活動にも大きな制約を受けています。そんな困難な状況下においても強い意志をもって学ぶJETの学生の姿を、日頃お世話になっている方々や、日本への留学を考えている方に SNS でジェッピーがお届けします。

JET で楽しい毎日を!「ジェッピー」の名前は「JET」と「HAPPY」から、そして配色は学校のロゴからきています。「学生の皆さんがこの学校での勉強や体験を通して成長し、夢に向かって羽ばたけますように」という願いを込めて、鳥のキャラクターにしました。(郷野真彩)



【訃報】

安弘先生を偲ぶ

9月12日、岡田安弘先生が急性 心不全のためお亡くなりになり ました。享年35歳でした。あま りの若さ、あまりにも急な出来事 に、私たちは言葉を失いました。



9月10日までいつものように出勤し、11日は校外での研修に参加していました。研修から帰宅後に高熱を発し、翌日(土曜日)熱はいったん下がったのですが、夕方ご自宅で倒れてその後病院で息を引き取ったそうです。

新型コロナがまず疑われましたが、PCR 検査結果は陰性でした。

$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$

岡田安弘先生が JET に奉職したのは 2017 年 4 月。タイの日本語学校に 3 年間勤め、婚約者との約束を果たすために日本に戻ったところでした。

同年 12 月には挙式。千葉のマイホームには、昨年かわいい 家族が増えたばかりでした。まさに絵に描いたような幸せな家 庭生活が始まったところでした。

野球で鍛えた大きな身体と、明るく開放的な性格の持ち主で、 屈託のない笑顔が素敵でした。

JETにはもう一人同姓の先生がいらっしゃったので、親しみを込めて皆から安弘先生と呼ばれていました。

JETの仕事は、日本語の授業の他に、読書指導や遠足などの学校行事を担当。自分ではあまり本を読まないからこれを機に自分も読書に取り組もうと、前向きでした。日本事情の授業では「落語」を一から企画し、工夫を凝らしたすばらしい発表会を開いてくれました。

☆ ☆ ☆

9月19日のお通夜と20日の告別式には、JETの教職員や学生をはじめ、JETやタイでの元同僚、かつての教え子など大勢が参列しました。 弔問には安弘先生と同世代の若い方々が200人以上訪れていたようです。

出棺のときになって急に雨が降り始めました。安弘先生が流 した涙だったのかもしれません。 (井上靖夫)



2017年5月の遠足で葛西臨海公園に行ったとき。担当クラスの学生たちに囲まれて。